



生きる力を育む学校教育の充実

● 現状と課題 ●

当町では、すべての小学校区に幼保一体園を設置しています。各園においては、様々な遊びを中心とした生活を通して、園児一人ひとりの自発的な活動を重視した教育を推進しており、今後も家庭や地域との連携を深め、人間形成の基礎を培う幼児教育の充実に努める必要があります。

県下有数の大規模小中学校を有し、学校規模や配置基準が見直される中、児童生徒数の今後の動向を踏まえながら、適正な運営及び設備の充実について検討していくことが必要です。

全国的に子どもの学力低下が叫ばれる中、児童生徒の確かな学力の定着を図るためには、必要に応じて少人数教育を導入するなどきめ細かな指導を行うことや子どもを主体にした創意ある教育課程の編成が求められています。さらに、知識、技能とそれを活用する力、他者との協働する力の育成も必要となります。また、小学校における外国語教育の実施や、小中学校における道徳教育、情報教育の取り組みなど新しい教育課題への対応も必要となっています。

学習意欲の向上を図りながら、高校生や大学生、大人から地域の自然や文化等を学ぶことで、郷土愛を育み、地域とのつながりの中で自分や友だち、家族などを大切にすることを育てることも大切です。

学力の向上のみでなく、子どもの健やかな体の育成に関しては、家庭、地域、学校が連携して取り組む必要があります。学校現場においては、子どもが「食」に関心を持ち、「食」を通じて健全な心身が育まれるよう、地産地消の推進や中学校での学校給食の実施により、「食」と「農」への理解を深めるための食育が重要となります。

近年、様々なストレスなどから心に悩みを抱える児童生徒が増えています。いじめ等の問題や不登校への未然防止に取り組み、早急かつ適切に、家庭や関係機関との連絡を密に取りつつ対応していかなければなりません。特別な支援を必要とする児童生徒には、将来必要となる力を育成するために、途切れのない特別支援教育を充実させることが大切です。また、日本語指導を必要とする外国籍の児童生徒や経済的に就学が困難と認められる家庭など、多様な支援が必要な家庭が増加傾向にあり、その対応が求められています。

学校運営については、地域とのつながりを大切にし、地域とともにある学校づくりや社会に開かれた教育課程を実現することが必要です。一方、防犯、防災面での安全確保にも十分配慮する必要があり、児童生徒が安全かつ快適な学校生活を送ることができる環境整備が求められています。



● 目指す方向 ●

① 幼児教育の充実を図ります

② 確かな学力を育成します

③ 豊かな人間性と健やかな体を育成します

④ 信頼に応える学校を目指します

⑤ 学校施設の整備、充実を図ります

● 関連する個別計画 ●

- ・ 菰野町教育振興基本計画（①～⑤）
- ・ 菰野町学校施設長寿命化計画（⑤）

● それぞれの役割 ●

町民・地域の役割	行政の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを学校、家庭、地域で連携して守り育てるという意識を持つ ・ 子どもが友人、家族等、他者とのつながりの大切さを学べるよう、地域における活動に積極的に参加する ・ コミュニティスクール等の取り組みを通じて、学校の運営や授業協力、クラブ活動支援等に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校における学力向上策を推進する ・ 社会参画力を身につけられるよう、発達段階に応じ、職業や勤労に関する教育を行う ・ 教員の指導力の向上や教育課程の工夫や改善を行うことで、学校教育の充実を図る ・ 快適な学校生活を送れる環境整備を図る